

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本競技会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。

2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、事前に大会ガイドラインとなる「大会参加にあたって」を確認し、下記の準備をしておくこと。

- (1) 江東区陸上競技協会ホームページ(<https://koto-tf.wixsite.com/koto-tf>)より、「大会出場同意書」・「体調管理チェックシート」をダウンロードし記入をしておくこと。
※検温については、競技会出場当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。
※「大会出場同意書」は、全競技者が提出すること。
- (2) 当日は、アスリートビブス（別項参照）、マスク、個人用シート、個人用タオル、ゴミ袋、ADカード入れ用首掛けホルダーを持参すること。

3 競技場の入場及び競技者受付について

- (1) 開門時刻は8時10分とする。8時10分から8時30分の間に限り、大きな荷物の運搬のために、100mスタート後方の出入り口の通行を可とする。
- (2) 競技場内への入退場口はE階段とし、他の階段および階段付近は避難経路にあたるので場所取りを禁止する。
- (3) T I Cは競技場中央入口左側D階段下及び中央出入口に設置する。
- (4) 団体受付の開始時刻は7時45分頃とする。団体代表者はT I Cに「大会出場同意書」を提出し、所属団体全員分のADカードを受け取る。受付の個別対応はT I C業務の支障をきたすので、おこなわない。「大会出場同意書」は事前に各団体で回収しておくこと。
- (5) 競技場内への入場については、感染症対策および競技者保護の観点からADカードのチェックを行い入場者の規制をおこなう。場内に入場する前にはT I Cで検温を受けること。
- (6) スタートリストに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、競技開始の60分前までに本部へ申し出ること。なお、スタートリストの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (7) 各自の競技（ウォームアップ）開始時刻に合わせて来場し、競技場に長く滞在しないようにすること。
- (8) 今大会では「ADカード」および「体調管理チェックシート」の回収は行わない。ただし、来場者は、体調管理チェックシートの提示を求められたときに対応できるように必ず準備をしておくこと。
- (9) 自身の競技が終了した者は速やかに帰宅すること。

4 練習について

- (1) 練習は競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (2) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。（競技区域内で練習する際は、競技者用ADカードを身につけること）
- (3) 周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。
- (4) 走幅跳の足合わせは、Cピットの使用を認める。フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行う。
- (5) 練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

5 欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・顧問を通じて、当該競技開始時刻の60分前までに競技者係（招集所：100mスタート地点後方）に申し出ること。

6 招集について

- (1) 招集所を100mスタート地点後方に設置する。
 - ① 競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス（旧ナンバーカード）・腰ナンバー標識（トラック競技のみ）のチェックを行う。競技用靴の靴底（トラック競技のみ）のチェックを行う。
 - ② 代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を過ぎた場合は当該種目を棄権したものとして処理する。
- (2) 招集所において、競技者は必ずマスクを着用すること。
- (3) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。
- (4) リレーオーダー用紙の提出締切時刻は最初の組の招集完了時刻の60分前とする。リレーオーダー用紙は、招集所に用意してあるものを使用し、1部を作成し競技者係へ提出すること。

7 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、事前に発表されたスタートリストを確認し、各自で作成すること。サイズは**横24cm×縦16cm**を標準とする。色は白地に黒字（2cm）で作成すること。
- (2) 胸と背中に確実に固定すること。（跳躍競技については、胸または背部のどちらか一方でよい。）
- (3) トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識（1枚）を各自で作成し、右腰やや後方につけること。（リレー競技はアンカーのみつける）サイズは横18cm×縦12cmを標準とする。色は白地に黒字（2cm）で作成すること。

8 競技区域への入場について

- (1) 競技区域（グランドレベル）への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。
- (2) スタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用すること。
- (3) 競技区域に入場できるのは、練習の際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者および引率者等の立ち入りは認めない。

9 競技方法について

- (1) トラック競技
 - ① トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
 - ② レーン順はプログラム記載順どおりとする。
 - ③ 不正スタートをした競技者は失格とする。ただし、小学生は同一競技者が2回の不正スタートをした場合失格とする。その競技者は競技には参加させ、記録は参考記録とする。
 1. 不適切行為（速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等）をした競技者へは、出発係が口頭にて注意を与える。（グリーンカードを提示する。）同一の競技者が同一レースで不適切行為を繰り返した場合は、スタート審判長がイエローカードを提示し警告を与えることがある。
 2. 競技会の中で2度の警告が与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される。
※競技会を通しての累積である。
 3. リレー競技において除外処分を受けた場合、当該競技は失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。
 - ④ 短距離走・リレーにおいて、スターティングブロックの使用を義務づける。ただし、小学生はこの限りではない。
 - ⑤ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - ⑥ リレーで使用するマーカーは各団体が用意し、レース終了後は必ずはがすこと。
- (2) フィールド競技
 - ① 跳躍種目の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
 - ② 走幅跳、砲丸投の試技数は3回で実施する。
 - ③ 小学生低学年走幅跳は踏切線を設けて競技を行うが、実測にて計測を行う。

(3) 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板に発表されてから30分以内に、団体の代表者がTICに申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

(4) 助力

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ③ 競技中に競技場内のスタンド下ダッグアウトから助言（指導）を行うことを禁止する。
- ④ フィールド種目に出場している競技者に対して競技区域外（スタンド）にいる競技者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技区域外（スタンド）から見せることに限定され、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

10 用器具について

競技用具は、主催者が用意したものに限る。

11 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。
フィールド種目においては、TR5.5を適用しない。よって記録は国内でのみ通用するものとなり、WAへの申請も行わない。しかし、国際競技会への参加資格となり得る記録が出た場合は、競技終了後に全員のシューズを検定する場合がある。

トラック種目（800m未満）	20mm
トラック種目（800m以上）	25mm

12 製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。

13 その他

- (1) 2022年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について、特に注意すること。
- (2) 競技中の助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
 - ①競技者への助言（指導）のために指導者が芝生スタンドへ入場することを認める。
 - ②引率保護者の芝生スタンドへの入場を認めない。
- (3) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (4) 届けられた遺失物については、TIC（本部）で保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。保管期間は競技終了時までとする。
- (5) 盗難防止のため、荷物は各自で責任もって管理すること。
- (6) 記録はその都度、アナウンスおよび電光掲示板で発表する。
- (7) 大会関係者以外の駐車場から公園敷地内への車の乗り入れは原則禁止とする。
- (8) 今大会では感染症対策から南北の大トイレ前通路を使用しない。その為、トイレは、100mスタート側大トイレを内向き、フィニッシュ側大トイレを外向きで開放する。
- (9) 更衣室内の場所取りを禁止する。また、更衣室を使用する場合は競技場内から入り使用すること。